

## 「(仮称) 第二次読書活動振興計画」市民意見交換会について (報告)

## 1 実施場所・参加人数

各図書館または近隣施設の全7会場で実施した。

参加人数合計：42人

日時	会場	参加人数
1月18日(土) 午前10時～11時30分	中央図書館 2階 活動室1	9人
1月18日(土) 午後2時30分～4時	豊ヶ丘図書館 2階 学習室	7人
1月22日(水) 午後6時～7時30分	消費生活センター(ベルブ永山) 講座室	4人
1月25日(土) 午前10時～11時30分	東寺方地区市民ホール 第一会議室	8人
1月25日(土) 午後2時～3時30分	からきだ菖蒲館 会議室3	4人
1月26日(日) 午前10時～11時30分	関戸図書館 活動室	3人
1月26日(日) 午後2時～3時30分	ひじり館 会議室2・3	7人

## 2 広報・情報共有

## (1) 広報

- ・図書館全館でポスター掲示・チラシ配布
- ・多摩市公式ホームページ、多摩市立図書館ホームページに掲載
- ・たま広報、市内公式X、やまばと通信(図書館報)に掲載
- ・公民館、コミュニティセンター、児童館、本庁舎1階案内横、障害福祉課、国際交流センターでチラシ配布
- ・多摩市市内掲示板でポスター掲示

## (2) 図書館職員への情報共有

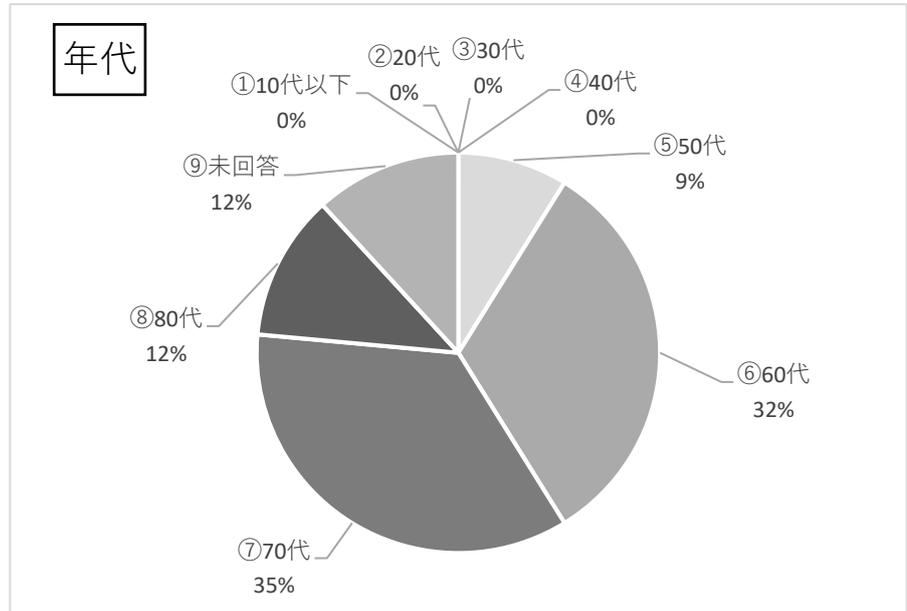
- ・連絡調整会(図書館の館長・係長参加の会議)を通じての周知
- ・全図書館職員向けにチラシ等配布時、開始前にメールで周知

### 3 アンケート（抜粋）

回答数：34件

#### (1) 年代

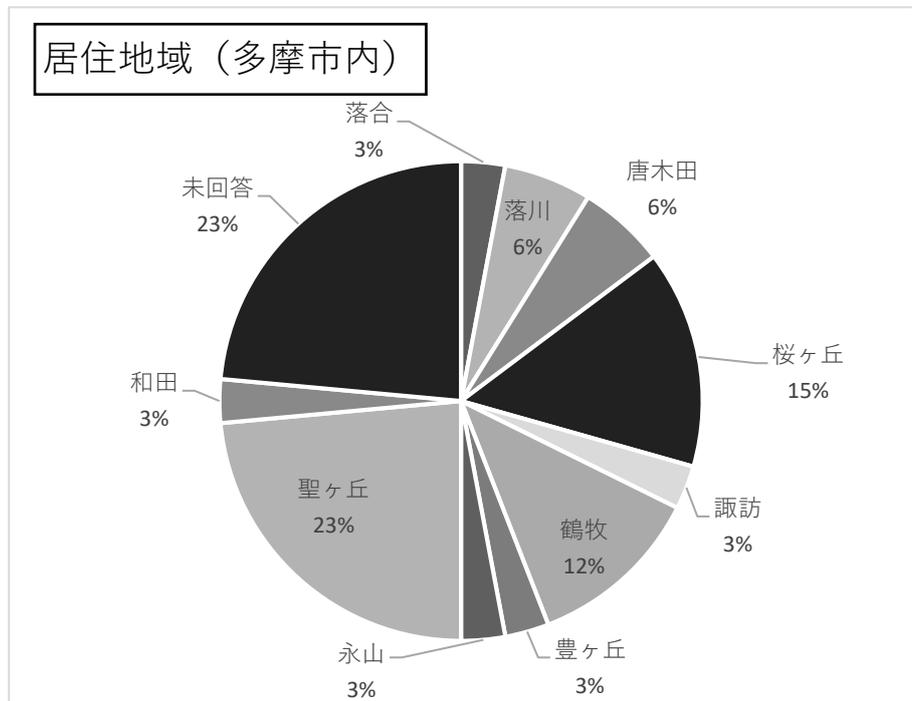
年代	回答数
①10代以下	0
②20代	0
③30代	0
④40代	0
⑤50代	3
⑥60代	11
⑦70代	12
⑧80代	4
⑨未回答	4
合計	34



#### (2) 居住地域

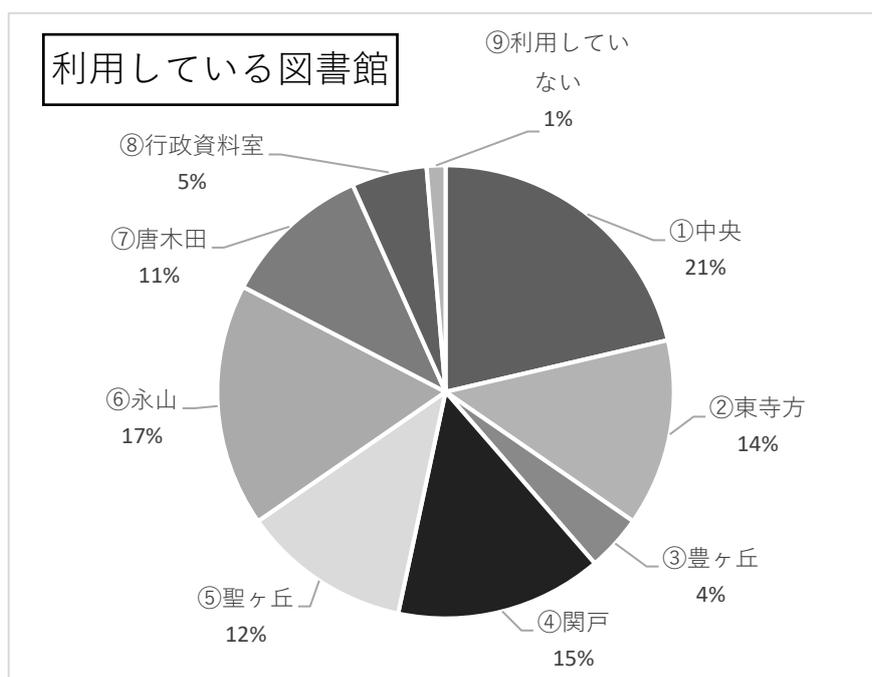
34件中33件が「多摩市在住」と回答（残りの1件は未記入）

居住地域	回答数
落合	1
落川	2
唐木田	2
桜ヶ丘	5
諏訪	1
鶴牧	4
豊ヶ丘	1
永山	1
聖ヶ丘	8
和田	1
未回答	8
合計	34



(3) 利用している図書館（複数回答可）

利用している図書館	回答数
①中央	16
②東寺方	10
③豊ヶ丘	3
④関戸	11
⑤聖ヶ丘	9
⑥永山	13
⑦唐木田	8
⑧行政資料室	4
⑨利用していない	1
合計	75



4 主な意見（実施会場順）

参加者の発言とアンケートの記入内容のうち、計画に関する主要なものを掲載

(1) 中央図書館

計画の該当部分	意見の概要
第3章・第4章 基本方針1	<p>○図書館サービスの広報について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の利用者でも基本的サービスを知らない方がいる。図書館の利用方法をアピールし色々な方に分かってもらうことが必要。</li> </ul> <p>○中央図書館のゾーニングについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館の席利用の問題（自習席としての利用が多数を占めている）について、ゾーニングを変えることも含めて検討してほしい。</li> </ul>
第3章・第4章 基本方針2	<p>○児童書コーナーの職員常駐について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童コーナー（サテライトカウンター）に職員が常駐し、子供達の話聞く場所を作ってほしい。フロアサービスは児童サービスの中でも重要なため、計画の中に入れてほしい。</li> </ul> <p>○近隣施設との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの読書活動推進のためには、図書館での活動だけでなく、小学校や児童館など図書館以外の地域施設とどう連携していくのが重要。</li> </ul> <p>○子ども向けの蔵書について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在子ども向けに歴史などをコミックでわかりやすく展開した資料が流行っている。多摩市はコミックを採用していないと思うが、弾力的に収集することが子どものためになるのでは。</li> </ul>

	<p>○関係課との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども読書に関して、たて割りではない関係課との連携を希望する。</li> </ul>
第3章・第4章 基本方針3	<p>○レファレンスサービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民の「知る」を支援する」という目標を達成するための問題点を整理し、読書活動振興計画という名前に限らず改善内容を計画に盛り込んでほしい。</li> </ul> <p>○図書館イベントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書会など、人とコミュニケーションを図る場所があればいいと思う。</li> </ul>
第3章・第4章 基本方針4	<p>○市民ニーズの把握・図書館運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館について、市民、利用者と一緒に考える場、仕かけを作りながら運営を改善し方針も考えていく。そういう目標も設定しておくとうい。今回のような市民の意見を聞く会を重ねてほしい。</li> </ul> <p>○利用者懇談会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館は他館とサービスや機能が違うので、市民との対話を増やす意味で、中央図書館での利用者懇談会は毎年開催した方がいいのではないかと。</li> </ul> <p>○市民への図書館に関する意識付けについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者懇談会では不十分。図書館に関する意識を広げる工夫を、図書館側から市民に対して行うことが必要なのではないか。基本方針④の施策22など入れてもいいのではないかと。</li> </ul> <p>○職員の接遇について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員から声をかけたり館内を巡回してくれれば、その場でコミュニケーションが発生するのではないかと。利用者懇談会に来て意見を言うことは、時間の都合もありなかなか難しい。利用者が実際に困っている時に職員がキャッチできる体制が必要。</li> </ul>
第5章	<p>○図書館協議会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の推進体制のなかで、図書館協議会での報告・評価が入っているが、図書館協議会は事業計画の評価が主体で大事なことの議論がされておらず、図書館協議会の役割が果たされていないのではないかと。計画の評価を協議会で行うのであれば、回数や委員を増やすなど、評価できる体制を記載しなければならないと感じる。</li> <li>・図書館協議会について、利用者の代表が協議することが本筋であると思う。協議会委員が能動的に状態把握できるよう、協議会委員の研修など図書館側からも支えてほしいし、協議会委員を通じて利用者の意識も変わってほしい。</li> </ul>

## (2) 豊ヶ丘図書館

計画の該当部分	意見の概要
計画全体	<p>○計画の策定過程について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大事な中期計画なので、名称も含めて検討中であるが、多摩市の図書館のこれまでの蓄積が後退しない様、一つ一つ整理しながら進めていってほしい。</li> </ul>

<p>第3章・第4章 基本方針1</p>	<p>○広報について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どこの図書館のどこにいけば、そのサービスを受けられるのかがもっと分かりやすくなると良い。図書館利用ができることを積極的にPRするべき。市民は知らないと利用に繋がらない。</li> </ul> <p>○地域館の運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域の図書館にしっかりとした蔵書が揃うことが、高齢者には大切である。</li> </ul> <p>○若者の利用促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「基本方針1だれもが使える図書館」の「施策1－3若者の図書館利用の促進」の中身が見えない。試験前や休日に若者が勉強のために来館することは予想できたが、今の利用状況は占拠に近い。図書館に来館した若者を、今後どう図書館に結びつけるかが課題である。</li> </ul> <p>○外国語資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域館でも、訪れた外国人が地元を感じられるように、外国語資料を所蔵しコーナーを設置してほしい。外国語資料の所蔵は、外国人利用者が自分の居場所があると感じることにつながり重要である。</li> </ul>
<p>第3章・第4章 基本方針2</p>	<p>○地域館の運営について（子ども）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが少ない館については理由を考えるとともに、身近な図書館に子どもが行き、楽しめる方法を考えたい。</li> </ul> <p>○おはなし会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会はそもそも図書館の事業である。すべてをボランティアに任せるのではなく、合同で実施するなどして関わってほしい。</li> </ul> <p>○児童サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを図書館に連れて行くと、子どもが気に入った本を自分で見つけ、図書館に通うサイクルができる。きっかけが大切だと思う。</li> </ul> <p>○図書館環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園に通う子が図書館に行かないという話を聞いた。児童コーナーの設置をするなどして図書館が小さい子が寄りやすい場所になればいい。</li> </ul>
<p>第3章・第4章 基本方針3</p>	<p>○電子資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙の図書以外の情報源の提供にも今後力を入れてほしい。</li> <li>・東京新聞の多摩版なども、インターネット上で見られるようになると便利である。</li> </ul> <p>○地域館運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域館ごとにそれぞれ「長居可能」、「おしゃべり可能」といった特徴を持たせれば良いのではないか。</li> </ul>
<p>第3章・第4章 基本方針4</p>	<p>○職員の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後計画を立てていく中で、人の配置が最も重要であると考え。レファレンスに対応できる人がいなければ、利用者としては満足できない。今後も職員・サービスの質を中央館だけでなく地域館でも担保してほしい。</li> </ul>

	<p>○職員の専門性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民の知る」をしっかり支える図書館になってほしい。職員が専門職集団として技量を高めていけるような制度を望む。</li> <li>・特に人材が一番肝要だと思うので、職員体制と育成計画をこの計画に明確に盛り込んでほしい。</li> </ul>
--	---

(3) 消費生活センター（永山）

計画の該当部分	意見の概要
第1章・第2章	<p>○他の計画との関係について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩市総合計画のような大きな計画から段階的に小さな計画が作られるせいか、各計画の期間がずれており、市では毎年何らかの計画の更新を行う状況になっている。計画期間をどこかのタイミングで庁内の各課と連携して他の計画と期間を合わせてもらえると助かる。</li> </ul>
第2章	<p>○図書館内の他の計画との関連性、実績について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既に図書館には中央図書館の基本計画、管理運営方針等いろいろな計画がある。それらの計画が新しい計画のどこに対応するのか、現行の計画の実績や結果がどうだったのか、それを踏まえて新しい計画ではどのような体制でどう改善していくのか、計画の中のそれぞれの事業をどの時期にどのように行うのかを市民に見えるように書いてほしい。</li> </ul>
第3章・第4章 基本方針1・2	<p>○若者の図書館利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の利用促進が大事。小学校2年生に行っている図書館訪問を中1でもやってほしい。電子図書館の使い方や調べ案内など、改めて利用促進を行うのもよいのではないか。</li> </ul>
第3章・第4章 基本方針2	<p>○子どもの読書推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの読書活動推進計画では市の関係者が参加する連絡会があったが、開催が少なかった。計画が一緒になっても連絡会は子供の読書の推進に大事だと思う。計画の概要版ではふれられていないが、引き継がれていってほしい。</li> <li>・連絡会の実施回数が少ないときちんと評価できていないのでは、という懸念がある。</li> </ul>
第3章・第4章 基本方針3	<p>○資料の受入体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習漫画等、寄贈であれば収集する等の受入体制を考えてほしい。</li> </ul> <p>○レファレンスサービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩市の行政の課題に関する資料を職員が勉強し、提供できるように収集してほしい。レファレンスしたくなるような図書館になってほしい。</li> </ul>
第3章・第4章 基本方針4	<p>○市民からの意見の反映について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者懇談会など市民から出た意見を反映していく改善体制を整えてほしい。市民から出された意見が議事録に載っていることはあるが、改善が見えたことがない。</li> </ul>

	○職員育成について ・新任職員への研修は良い事だと思う。新任議員にも行ってほしい。
第5章	○計画の推進体制について ・計画として書かれたことが実現されたかどうか見えたほうが良い。 ・データをどのように集めて分析に活かすのかもわかるようにしてほしい。 ・図書館協議会の市民委員の評価のみでは市民によるチェックができるとはいえないのでは。アンケートなど市民の声を聞くチェック体制を取り入れて改善する計画にしてほしい。

(4) 東寺方地区市民ホール

計画の該当部分	意見の概要
第3章・第4章 基本方針2	○小学生未満の子どもへのアプローチについて ・より低年齢の図書館訪問の実施も検討してほしい ・図書館へ足を運ぶ機会のない親子に出張お話をするなど、身近な場所で本を親しむ機会を提供し、子どもと本をつなげてほしい。 ○ボランティアとの関係について ・ボランティアをうまく使ってほしい。ボランティアが行うおはなし会でも職員の方には参加してほしい。ボランティアの方と連絡をとりあって密な関係性をつくってほしい。また、ボランティア連絡会の開催回数が少ないのが気になっている。
第3章・第4章 基本方針3・4	○地域館について ・地域コミュニティについて。公共施設マネジメントとして施設の見直しを行っているが、図書館の具体的な施設の考え方を示してほしい。地域館の本来の役割が果たされるよう、計画内に明示してほしい。 ○地域館職員と市域住民との対話、地域館の自主性について ・本計画では各図書館の地域性を盛り込むと施策17にあるが、職員が市民との対話しながら決めてほしい。今回の市民意見交換会のような、ニーズを把握する対話する機会を計画に盛り込んでほしい。 ・職員の意識改善が必要。地域館の職員が市民と対話しつつ自主的に創意工夫しながら業務に取り組めるように、計画の基本方針4などに盛り込んでほしい。 ・東寺方図書館に職員に図書館の改善提案をしても「中央に確認する」と回答され、なかなか話が進まないことがある。中央図書館に全て集約するのではなく、各図書館に権限を与え、地域館が利用者と対面して計画を推進する体制を整え、地域館の特性を生かした柔軟な対応をしてほしい。 ○地域館の蔵書について ・中央図書館の開館に伴い東寺方の蔵書数が減った。図書館は資料や空間が大事なので蔵書数は戻してほしい。蔵書数が減ると資料を探すモチベーションが下がり、利用者数が先細りになってしまうのでは。

	<p>○地域住民の図書館運営への参加について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東寺方は若い世代の住民が増えていて未来がある地域であり、よりよい図書館や、新しい仕組みができる可能性がある。サポーターシステム的なようなものができてほしい。市民のパワーを利用するべき。</li> </ul> <p>○地域館の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東寺方図書館の充実をしっかりと書いてほしい。</li> </ul> <p>○レファレンスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩市の行政資料で行政資料室にない古い年度の資料を中央図書館へ見に行ったが、結果として国立国会図書館のホームページで閲覧できることが後から判明した。職員はデータ化されたものの案内もできるようにしてほしい。</li> </ul>
<p>第3章・第4章 基本方針4</p>	<p>○地域館について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動プログラムで地域館が閉鎖から存続に変更になり、図書館全体の運営計画が新しい計画に書かれると思うが、地域館が存続できる担保となるような計画内容にしてほしい。</li> </ul> <p>○東寺方施設建て替えについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東寺方の建て替えに関して、児童館・老人福祉館の素案が現在出てきている。図書館はその素案に入っていないが、図書館として地域館をどうするかを本計画に示してほしい。</li> <li>・コミュニティ会館になるとのことだが、東寺方・豊ヶ丘の図書館の位置が鮮明になってない。東寺方図書館がどのような図書館になるのか本計画に明記してほしい。</li> <li>・計画について、市民から出たアイデアを落とし込むシステムが必要。東寺方だと図書館、児童館、福祉館と各組織の縦割りになりがちなので、現場の職員が入り複合館全体としての話し合いが必要だと思う。</li> </ul> <p>○運営体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・唐木田図書館が委託、東寺方が非常勤職員で運営試行中とのことだが、長年そのままなので方向性を決めるべきではないか。</li> </ul> <p>○利用者の意見の反映について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の声をどれくらい反映して実現できているのかを知りたい。</li> </ul>
<p>第5章</p>	<p>○計画の推進体制（評価）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の推進体制があるが、市民による評価がない。図書館協議会には市民委員がいるが、市民交換会や利用者懇談会には参加していないこともあり、市民の意見を十分に把握できていないのでは。施策22に市民ニーズの把握があるので、推進体制に市民の参加を追加し、図を修正してほしい。</li> </ul> <p>○図書館協議会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の推進体制について、図書館協議会の多くが事業計画の検討に費やされている。計画に盛り込まれるとさらに図書館協議会が事業計画のための組織に思えてしまう。図書館協議会の組織としての意義を考えてほしい。</li> </ul>

(5) からきだ菖蒲館

計画の該当部分	意見の概要
計画全体	○文言について ・市民が読んでもわかりやすいようにできるだけ分かりやすい表現で書いてほしい。
概要版	○配付資料について ・概要版の P4 に行政資料室の説明を追加して、独自の役割を持っていることを示すべき。
第3章・第4章 基本方針3・4	○各館運営について ・職員体制を含め、地域館の運営について計画の中で検討してほしい。 ・地域館の館長が兼務となっており、常に各館の状況知る人がいないだけでなく、館長も各館の状況を把握するのが大変だと感じる。 ・蔵書や面積を除いては、どの図書館でも同じサービスを受けられることが重要。各館の差がないように計画を練ってほしい。 ○図書館運営について（職員配置） ・職員配置を含め、地域館については考えてほしい。 ・各館に責任を持ち、すぐ対応できる人がほしい。 ・地域館は市民と職員の距離が近く、信頼関係を築けることが大切だと思う。 ・職員数を増加させることが理想だが、職員1名＋専門スタッフという体制を最低限維持する必要がある。応援ではなく、中心となる人が必要。そうすることで地域館の特徴も生かせる。 ○図書館運営について（業務委託） ・地域性を活かし新たなサービスをするならば、中央図書館とのコミュニケーションが大切ではないか。

(6) 関戸図書館

計画の該当部分	意見の概要
第3章・第4章 基本方針1	○広報について（バリアフリー） ・本当に使ってほしい人に情報が届いているか疑問。 ・良さをうまく伝えて、バリアフリーにつなげてほしい。 ・バリアフリーへのアプローチが必要な地域館でこそPRするべきでは。
第3章・第4章 基本方針2	○他部署との連携について ・子どもは図書館でない場にいること（検診、幼児教育の場など）が多い。それらと図書館が連携するのがとても重要。「縦割り行政」ではなく横のつながりを作って、しっかりやってほしい。 ○小中学校との連携について ・「多摩市立小中学校」について、連携について具体的なことを聞く機会があり個別の扱いになることに理解はしたが、違和感はある。子どものいるところはどこも同じ

	<p>扱いにならないのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩市立小中学校としてしまうと、市民が見たときに「他の学校もあるのに」と思われてしまうのが心配。</li> <li>・なぜ市立小中学校が特別なのがわかる記述が必要。「システム連携による～」などをつけると、特別に取り上げられている理由がわかるのでは。</li> <li>・学校とどうかかわってほしいのか、図書館のスタンスをはっきりさせてほしい。他の自治体は図書館が間に入ったり、図書館が直に対応したりしている。どこから始めるか、計画に載せていくべき。</li> </ul> <p>○アウトリーチについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタートはボランティアと図書館双方が関わっていてよい。ただ、幼稚園・保育園・児童館などに図書館の手が届いていない。すぐに図書館が直接定期的にするのは難しい。ボランティアとどう関わっていくのか、道筋を立てたほうがいい。</li> <li>・アウトリーチの活動をどう推進していくか、今の書き方だと弱い。</li> <li>・図書館が併設されていない児童館などでおはなし会をする機会を持っており、そういった環境で図書館のサポートがあると良い。</li> </ul> <p>○おはなし会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会の参加人数が減り、どんどん低年齢化している。小学生がほとんど来ない状況などを、実際に見てほしい。学校で活動すると、普段おはなしに触れる機会の少ない子どもに手が届き、図書館の情報も届けられる。</li> </ul> <p>○ボランティアとの連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアがどう活動しているか、きちんと把握してほしい。</li> <li>・すべて図書館でする必要はなく、ボランティアとどう連携するかが大切では。</li> <li>・学校図書館と多摩市立図書館との連携はあるが、もっと本と子どもを繋げる活動にボランティアも活かしてほしい。</li> </ul> <p>○職員について（子ども読書関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の仕事がたくさんあるのはわかるが、現場で子どもたちに接しながら学ぶ体制をつくってほしい。子どもとの関わりには積み重ねが必要。</li> </ul> <p>○電子書籍について（子ども読書関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の有識者会議でも、低学年には紙が良いという意見が出ている。早い時期から紙の本に触れておくべき。</li> <li>・これからの教育のありかたに沿って、電子図書館を活用して行ってほしい。</li> <li>・時代の要請に応えられる組み立てが重要。図書館サービスが大きく変化するつもりで計画してほしい。</li> <li>・特に子どもの本について、電子化されているものは限られており、そこから選ばなくてはならない。お金が限られている中で、本当に必要なのかは考えてほしい。</li> </ul>
<p>第3章・第4章 基本方針3・4</p>	<p>○駅前拠点館について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関戸図書館が駅前だけでない特色が必要。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関戸図書館は他の施設や地域とのつながりが希薄。</li> <li>・ 地域との接点をどう持つのか、抜本的に考える必要がある。</li> <li>・ 「駅前拠点館」という名称で思考停止してしまわないか。あくまで地域館のひとつで駅前に建っているという特徴。拠点館という名称は条例にもない。</li> </ul> <p>○職員体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 館長が常駐しないので、要望を出しても返ってこない。</li> <li>・ 館長になる機会も奪われており、人材育成の面でもよくない。</li> <li>・ 兼務体制を解消することを盛り込んでほしい。</li> <li>・ すぐに解消できないのであれば、負担軽減を考えてほしい。</li> </ul> <p>○ICTについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ DXによる業務の見直しは図書館では不可欠。市として取り組んでもいる。</li> <li>・ 業務の見直しとして取り組んでほしい。</li> </ul> <p>○運営体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「これは中央の担当」などと縦割りにならないようにしてほしい。</li> <li>・ 市民も職員も計画を自分事と意識するよう働きかけていくべき。</li> </ul> <p>○行政資料室について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政資料室を安易に議員だけでなく市民の要望も踏まえたサービスのあり方の検討を盛り込んでほしい</li> </ul>
--	--

(7) ひじり館

計画の該当部分	意見の概要
計画名称	<p>○名称について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多摩市の図書館のことについての基本方針となっているが、「読書活動振興計画」とひとくくりにするのはおかしいと思う。仮称であっても見直してほしい。</li> </ul>
第2章	<p>○データについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の人口構成、男女構成、年齢構成を合わせて考えて資料提供して頂くと考えやすい。</li> </ul> <p>○基本方針・運営方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多摩市全体の図書館の基本方針・運営方針をこの中に盛り込んでください。</li> </ul>
第3章・第4章 基本方針	<p>○基本方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な根幹業務は常に変わらないと思うので、5年先などを見据えて重点的にやることをピックアップしてほしい。図書館は数値面で利用率をアピールすることが難しく、評価が難しいと思っている。実現するための人とお金をどうするかを検討が必要だと思う。</li> </ul>
第3章・第4章 基本方針2	<p>○おはなし会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読み聞かせをボランティアで行っているが、本来的には図書館の基本的なサービスだと思う。以前は都立桜ヶ丘学園へも図書館が出向いてお話をしていたが現在は</li> </ul>

	実施していない。
第3章・第4章 基本方針3	<p>○施策17 地域性を活かしたサービスの提供 について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聖ヶ丘図書館の利用者について高齢者が多いと図書館側で把握していると思うが、蔵書構成上は高齢者向けの資料が充実しているとは思えない。高齢者向けの福祉などの市のパンフレットを設置するなど、課題解決支援をしてほしい。聖ヶ丘図書館付近には福祉関係の施設が多いため福祉に対するニーズも高く、コンパクトに地域が繋がっている。複合施設内にある図書館も、そういった意図を担っていると思う。聖ヶ丘地域から中央図書館へのアクセスが良くないため、地域住民は聖ヶ丘図書館を利用していると思う。蔵書構成や展示などを工夫してほしい。</li> <li>・本計画でも、利用者構成を十分に踏まえた計画にしてほしい。施策17で「各図書館の地域性を活かしたサービスの提供」とあるが、桜ヶ丘都立公園などの自然環境や近隣施設を踏まえた地域資料があれば、地域性が上がると思う。</li> </ul> <p>○市民のニーズ把握について</p> <p>図書館だけで考え統計を見るだけでなく、実際の声聴いて利用者のニーズを把握していかないと気づかないことが多いと思う。意見交換会の場を継続的に行い、お互いが意見交換できる環境を作ること、地域性の高い図書館が生まれると思うので、職員にもそういった意識を持ってほしい。</p>
第3章・第4章 基本方針4	<p>○職員体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聖ヶ丘図書館は正規職員がおらず、館長は3つの館を兼務しているためほとんど聖ヶ丘図書館にいない。職員に話をしても「今は決められない」という回答が多いため、体制を整備して正規職員を配置してほしい。</li> </ul> <p>○意見交換会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域で意見交換会を開いてもらうのは良い。引き続きこういった会を持ってほしい。</li> </ul> <p>○唐木田図書館の試行運用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この計画で方向性を出していくとのことだが、民間委託と直営の費用面での精査はされているのか。精査されているようならどういった金額になっているのかを公にしてほしい。</li> </ul>
第5章	<p>○図書館協議会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館協議会委員は評価できるような人達なのか。市民意見交換会などでも姿を見ず、市民の状況を知らない人が外部評価をしているのはどうなのか。他市では、アンケートなどを実施して様々な評価を踏まえたうえで総合的に評価していると思う。現在の多摩市で行っている図書館の自己評価と照らし合わせた評価のみだと総合的な評価ではなく説得性が少ないので、見直す余地があると思う。</li> </ul>